



**豊かな心で、粘り強くやりぬく子**

よく考え表現する子（知）

認め合い高まる子（情・意）

進んで体を鍛える子（体）

**児童の実態**

- 基本的な「聞く・話す」姿勢が定着し、話をよく聞き反応することができる。
- 自分の考えを進んで話したり、仲間の考えにつないで話したりできる。
- 真摯に繰り返し学習に取り組むことができる。

**児童の課題**

- 記述されている問題の意図を的確に読み取り立式する力が弱い。
- 自分の考えを筋道立てて、説明することに弱さがある。
- 既習の学習の定着が弱く、既習技能等を活用する力が弱い。

**研究主題**

一人一人の児童が「できた」「わかった」といえる授業づくり  
～ユニバーサルデザインを取り入れた授業の指導と工夫～

**研究仮説**

算数の指導において算数的活動を教師が児童の困り感等を十分に把握し、指導に工夫をして見通しをもって指導することで、児童が困り感を解消し、様々な考えを出し合い、お互いに学び合っていく授業をすすめれば、筋道立てて考えを表現する能力が身につく。

**研究内容**

(1) 単元指導計画の工夫 「付けたい力の明確化」	(2) 一単位時間の指導の工夫 「見える化」	(3) 学習集団 「共同化」
見通しをもって学び続ける単元指導計画づくり	児童が「わかった」を実感できる筋道立てて考えを深めていくための学習指導過程のあり方	仲間と共に学び合う学習集団づくり
<p>①「付けたい力」の明確化 指導内容を効果的に身に付けさせるための単元指導計画づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的なねらいをふまえて各単位時間の役割を明確にした単元構造図</li> <li>・各単位時間ごとの「付けたい力」を明確にした単元指導計画</li> </ul> <p>②児童の困り感に寄り添う単元指導計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の困り感を解消するための配慮を明確にした単元指導計画</li> </ul>	<p>①「ねらい」の明確化(不易) ねらいを見れば、その時間の付けたい力がわかるねらいづくり</p> <p>②仲間と共にわかるが実感できる「学び合い」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>習熟度による学習</p> </div>	<p>①仲間とともに学ぶための基礎を養う学習集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SSTを踏まえた学び方の徹底</li> <li>・コミュニケーションが円滑にできる学習集団</li> <li>□話し方名人</li> <li>□聞き方名人</li> <li>□ペア交流</li> <li>□G交流</li> <li>□G机列</li> </ul> <p>②単純化の徹底 必要最低限度の明確化</p>